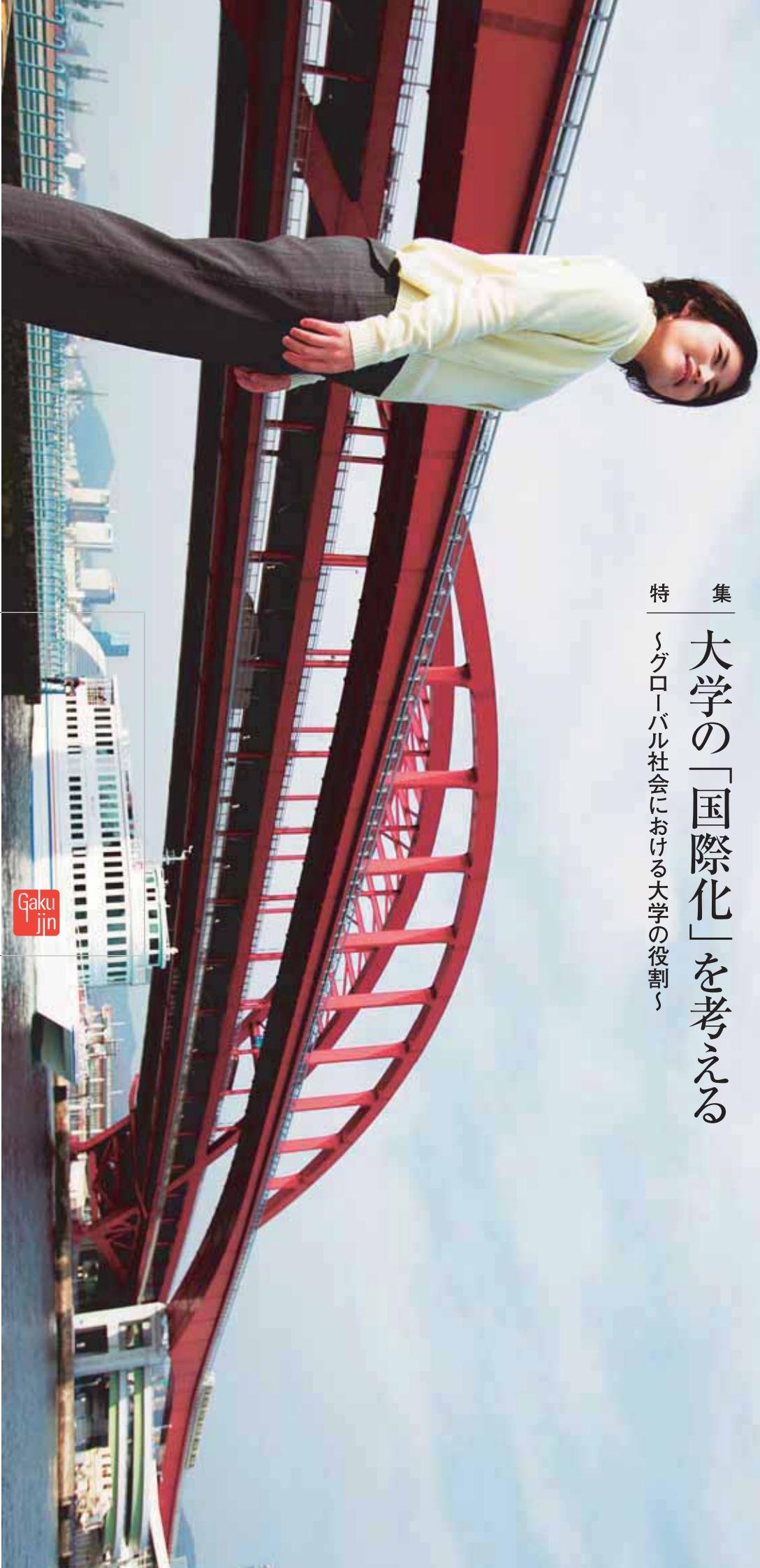


特集

大学の「国際化」を考える

「グローバル社会における大学の役割」



December
Vol.23

楽人

Gaku
jin

contents



特集1

大学の「国際化」を考える ～グローバル社会における大学の役割～

大阪商業大学「国際化」への取組み

大阪商業大学 副学長 片山隆男

神戸芸術工科大学が進む「国際化」への道

神戸芸術工科大学 学長 土肥博至

特集2

祝 100th anniversary

中京女子大学 百周年式典＆大祭典 in ナゴヤドーム

ニュースワイルド

芸工大・山本寛介氏 講演会／学園設置校 地域商店街活性化に一役
芸工大・ケータイフォトコンテスト結果／金村大裕君 阪神タイガースに内定

コラム

識者の目線 医療と介護の側面で、確かな地域貢献を実現

特定医療法人渡辺医学会 櫻橋渡辺病院
理事長兼病院長 渡辺真一郎

クリエイティ・オブ・ライフ～ニートについて～
編集後記

11

10

9

7

6

5

2



表紙の人

今回表紙を飾っていただいたのは、神戸芸術工科大学大学院生の平野奈々さん。齊木研究室で日夜研究に没頭する傍ら、留学生をサポートするチューターとしても活躍されています。長時間にわたる撮影にご協力いただき、ありがとうございました。

Gaku
jin

■ 留学

過去

未来 現在

■ 学術交流

昨今、経済・文化・芸術等が世界に広がることを意味する言葉『グローバリゼーション』を頻繁に耳にする。その必要性は当然教育界、ごと大学界においても「大学の国際化」・「国際化教育」というテーマで従前より唱えられており、それに伴い全国の大学は多角的な「国際化」への取組みをおこなっている。

楽人では、国の提言する「国際化」に関する策・事業から、大学にとっての「国際化」の指標を明確にし、またその役割を検討する。

そして大阪商業大学・神戸芸術工科大学にスポットをあて、各大学の国際化に関する取組みの現状を紹介し、これから国際化充実に向けての方策を探る。

（グローバル社会における大学の役割）

大学の「国際化」を考える

■ 交流協定

051221

GAKUJIN vol.23
17-12-24 18:47 K4international
ge

特色を活かした「国際化」



國人留学生の数や「交流協定学校数」など様々なであり、その定義つけは「言で説明できません。しかし、95年から02年の間で、大学等間での交流協定締結数は

倍以上に増加し、留学生の受入数が1000名を超える大学の増加、「共同研究など学術交流の活性化のため大学の海外拠点数の急増」等の結果を見れば、各大学がそれぞれの特色を活かし「国際化」に力を注いでいることは十分理解できます。

文部科学省でも過去様々な「教育の国際化」を推進する策を発表しています

学には世界の教育機関との切磋琢磨や連携を通じ、日本の科学技術や学術水準を世界最先端のレベルに発展させることが期待されています。

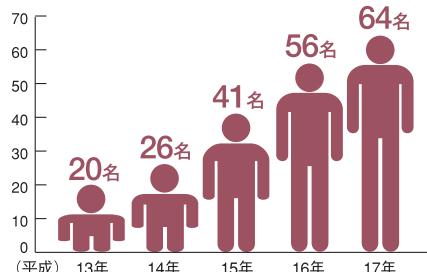
技术・学術審議会国際化推進委員会報告書「科学技術・学術分野における国際活動の戦略的推進について」においては、「大学が地域、研究分野など対称に

応じ戦略的に国際活動に取り組むこと、外国人研究者等の研究教育環境・生活環境への組織的な支援、海外の大学、国際機関、内外の援助機関等との連携、情報発信・収集力の強化等、大学等における特色ある組織的な国際活動を推進することが重要とされています。

そして今年度から、各大学等の特色に応じた学内の各種組織を有機的に連携した、全学的・組織的な国際活動を推進するために開始された「大学国際戦略本部強化事業」では、68件の申請の中から20件が採択され、その事業を開けています。

大阪商業大学

■過去5年の留学生数推移



■協定締結校

学校名	国	形態
江原大学校	韓国	国立
中央財経大学	中国	国立
ヒューストン大学	アメリカ	公立
ヒューストン大学 クリアレイク校	アメリカ	公立

その他

※海外留学を推進するに際して、「4年間の在学年限に留学期間も含まれること(単位認定)」を検討して「送り出し制度の整備」が課題となっている。

※比較地域研究所を核とした海外との交流は活発で、過去にシンポジウムを開催しており、今後も国際的な広がりが予想される。

※「国際化」に関する事項の合意形成については、国際交流部会での検討を経て、企画委員会に諮り、教授会で審議。

教授会

企画委員会

国際交流部会

「大学国際戦略本部強化事業」

- ①世界的研究・教育拠点を目指して、国際活動への取組みに関して実績のある大学等において、既存の取組みの蓄積等を踏まえた特色ある企画に基づき、国際活動を重点的に強化していくこと。
- ②大学等としての国際戦略の下、各大学等の特色に応じて「国際戦略本部」といった全学横断的な組織体制を整備するなどにより、全学的なコンセンサスに基づき、国際活動を組織的に推進すること。

上記を目的の中心に、申請採択者には国際活動にかかる旅費・人件費・活動費等が補助される。今年度は申請68件中20件が採択された。

国立大学法人 15件
北海道大学
東北大学
東京大学
東京外国语大学
東京工業大学
一橋大学
新潟大学
名古屋大学
京都大学
大阪大学
神戸大学
鳥取大学
広島大学
九州大学
長崎大学

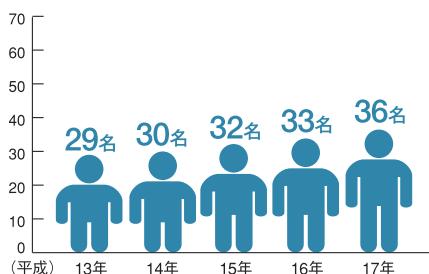
公立大学 1件
会津大学
私立大学 3件
慶應義塾大学
東海大学/九州東海大学/ 北海道東海大学(共同提案)
早稲田大学
大学共同利用機関法人 1件
自然科学研究機構



交流協定状況と留学 「国際交」

神戸芸術工科大学

■過去5年の留学生数推移



■協定締結校

学校名	国	形態
東西大学校	韓国	私立
北京理工大学	中国	国立
ウェストミンスター大学	イギリス	国立



その他

※神戸芸術工科大学、北京理工大学、東西大学校と3カ国共同研究を実施、11月に「3大学国際共同シンポジウム」を実施。

※韓国、中国との交流の進展に伴い、「外国語」科目のうち、ドイツ語を開講せずに、平成17年度より「ハングル」を開講。

※過去に環境デザイン学科の学生作品を東明情報大学校にて展示。

※ドイツ文化センターと日独交流研究セミナー「E.シュピーカーマン、戸田ツトムが語るデザインの地平」を共同開催。

※「国際化」に関する事項の合意形成については、国際交流室会議、国際交流委員会での検討を経て、教授会で審議。

国際交流室

国際交流委員会

国際交流室会議

■グローバリゼーションと 大学教育

ご存知のように1980年代以降とくに1990年代に入りて、人・モノ・カネ・知恵(情報)が国境を超えて移動する、いわゆる「市場化」の傾向が進み、社会主義諸国にも我々と同じ経済システムである市場システムが拡がっています。そしてこのことは一般的に「グローバリゼーション」と表現されるようになりました。

このような状況下で、大学生が社会に出た場合には予想されることは、就職先の企業活動や、NPO・NGO団体の活動への参画などを通じて海外という舞台で自分を活かす可能性が高いことです。一方グローバリゼーションが進むなかで民族・宗教・文化の対立および相克、それに伴うテロなどさまざまなリスクが局所的、かつ広範囲にわたって生じています。

この状況下で大学に求められるのは、単に日本国内での社会活動に必要なことを学生に教えることだけではありません。国際的なレベルで活動できる人間に活動できる人間になるために、国内での生と同時に、

できない宗教や民族、文化の「違い」の中に自身が存在していることを学生に体感させることです。またその「違い」を單に学生に経験させるだけではなく、「違う」の中には少なからずリスクがある

東アジア諸国との交流

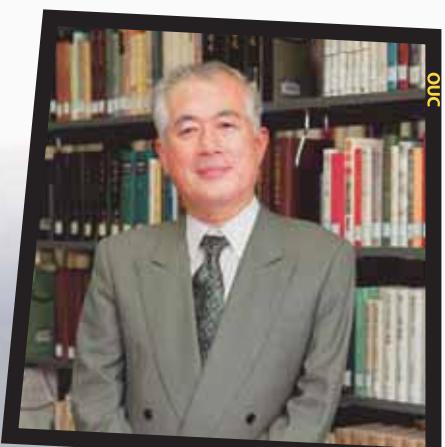
日本がこれまでに培ってきた大学における教育内容や、日本社会を構築する上で依拠してきた文化・知識・知恵等はヨーロッパ諸国やアメリカから伝統的に学んできました。しかし今日のグローバル下で、その存在感を強めているのが東アジアの国々であります。いまや、東アジア

の共同体組織を創設しようという声も出てきています。このことからも今後日本を含むアジア諸国は、他国との経済提携である自由貿易協定を結ぶことからはじまり、その後は科学・経済・文化などジャンルを問わない幅広い交流が実現するものと予想されます。

そこで我々は、ヨーロッパの国々やアメリカはもちろん、急成長を遂げる近隣諸国とともに「韓国」・「中国」の大学を中心にこれからも交流協定校を拡大するつもりです。

まずは、互いの大学の教育理念、教育内容・運営方針等を理解し合い、

「ベンチャース・ビリツツが国境を超える」



大阪商業大学 副学長
片山 隆男

大阪商業大学 「国際化」への取組み

存在することを感じるということとも教育の中に取り入れなければなりません。(これはリスクの高い場所へ学生を送り込むということではありません。)

■存在感を強めている

東アジア諸国との交流

日本がこれまでに培ってきた大学における教育内容や、日本社会を構築する上で依拠してきた文化・知識・知恵等はヨーロッパ諸国やアメリカから伝統的に学んできました。しかし今日のグローバル下で、その存在感を強めているのが東アジアの国々であります。いまや、東アジア

■今後の国際交流の意義

今後我々は、大阪商業大学が国際化に向け取り組む様々な方策を大學生のつ特色として、社会に対し広く発信しなければなりません。大阪商業大学が社会科学系の大学として、国内だけで教育活動を行っているのではなく、国外にも広く門戸を開きアメリカ・韓国・中国などとの交流を行っているという事実は、在学生・受験生の皆さんに良き知的刺激を与えることとなり、さらに海外へ雄飛するという社会参画意識の芽生えにつながります。





神戸芸術工科大学 学長
土肥博至



神戸芸術大学が進む「国際化」への道



神戸芸術工科大学

■韓国、中国の大学との 3大学共同研究

今後の本学の国際化に関し述べるには、先におこなわれた本学・東西大学校(韓国)・北京理工大学(中国)の3大学による共同研究について触れる必要があります。(7月~9月にわたりおこなわれた3大学の教員・大学院生による国際共同調査。今回は中国民居の中でも古く、保存状態の良い大邸宅「王家大院」が調査対象となりました)

年はドイツ年といふこともあり日本国内で、科学・経済・文化など様々な分野での交流イベントがおこなわれました。その中で本学ではグラフィックデザインから多くのフォントデザインまで多分野で活躍する、ドイツ人デザイナーのエリック・シュピーカーマンさんをお招きし、日独交流研究セミナーを成功させました。これは本学の国際化にとって貴重な歩みであり、今後イタリア・イギリス・フランスなどのヨーロッパ諸国との交流強化のためのきっかけとなるでしょう。

「アジアのデザインについて 世界に発信できれば」

大学教育のグローバル化に向け、解決すべき課題も少なくからず存在します。その

「言葉の壁」です。

■ますます求められる コミュニケーション能力

本件は本学の国際交流の中では最も先進的なレベルであり、学生が異文化社会や人と交流することで養われる国際力が学生達の今後にプラスになることから、非常に有意義なことだと捉えています。そして初回である今年度の研究足がかりに、アジアのデザインについてその研究結果を3大学から世界に発信できれば幸いです。またそれを進めるうえで例えば3大学共同運営の「アジアデザイン研究センター(仮)」のようないくつかの組織の設置も必要であると考えています。

■アジア諸国だけでなく 欧米諸国とも交流

以上のことからも、当分の間、本学の国際化はアジア諸国との良好な関係作りが中心になります。しかしそれは、欧米諸国との関係を軽視するというものではありません。今

努力をしなければなりません。

学生への英語教育に関してですが、近年韓国の学生において非常に興味深い事象が起こっています。それは10年ほど前までは日本人大学生と同レベルであった韓国人留学生の英語力が、近年飛躍的に向上しているところです。これはグローバル社会へ対応するため、韓国が国家レベルで取り組んだ、徹底した英語教育の賜物なのです。韓国の大学では最近、授業科目から英語を外す傾向にあります。これは学生の英語能力の保障について、大学教育にその責務があるのではなく、「大学入学者は母国語同様世界の共通語である英語を使いこなせて当たり前」という風潮が国内に浸透したからだといえます。

この外国語教育の成功事例は、日本での英語教育事情と照らし合わせれば、いざなせて当たり前の風潮が生まれるとは多いと考えます。

新しい留学プログラムの開発や海外インターーンシップ制度の拡充、協定締結大学の拡大、そして在籍大学と留学先大学の相互認定による二学位を取得できるシステムなど、今後日本において「大学の国際化充実」というテーマは加速度的に整備されます。神戸芸術工科大学は国内のみならず「世界」に果たす役割を自覚し、在学生に実りある、そして受験生に魅力ある国際化事業を展開してまいります。

「加速度的に整備される 大学の国際化充実」

中京女子大学 100th Anniversary



周年

平成17年11月23日 ナゴヤドーム
中京女子大学創立100周年記念式典&大祭典 開催

記念式典

- 1 開会宣言
- 2 100年のあゆみ
- 3 学園代表者挨拶
- 4 来賓代表者祝辞
- 5 来賓・祝電紹介
- 6 閉会宣言

大祭典『100周年フェスティバル』～開け2世紀のとびら～

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 開会宣言(中京女子大学学生会会长) | 10 ダイヤモンドリレー |
| 2 記念演舞 | 11 ジャンケンゲーム |
| 3 ドラキチ・アトラクション | 12 至学館高等学校マスゲーム |
| 4 人文字記念撮影 | 13 大抽選会 |
| 5 学園功労者記念品贈呈式 | 14 中女バフス(女子硬式野球部)お披露目 |
| 6 2世紀目へのウルトラクイズ | 15 グランドフィナーレ |
| 7 みんなでソーラン | 16 主催者挨拶(至学館高等学校校長) |
| 8 加子母っ子体操 | 17 閉会宣言(至学館高等学校生徒会会长) |
| 9 加子母伝統文化芸能披露 | |

創立100周年記念式典
&大祭典
「開け2世紀のとびら」

平成17年11月23日 ナゴヤドーム
(名古屋市東区)にて、学校

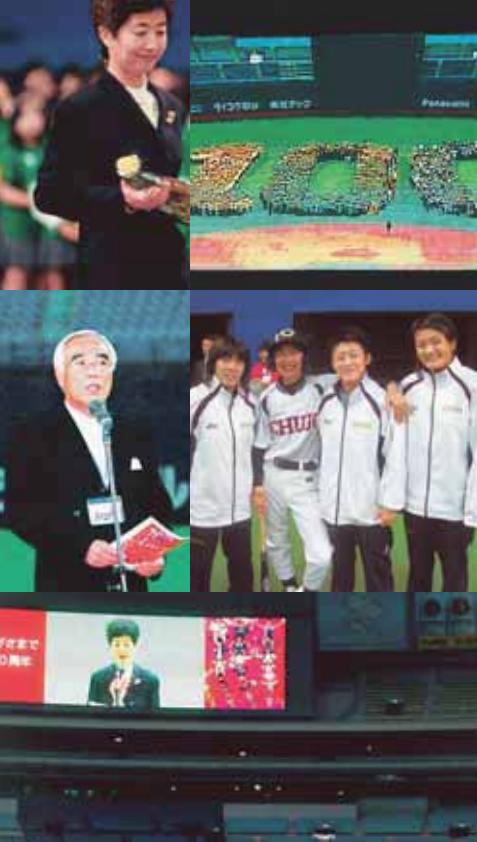
法人中京女子大学創立100周年
記念式典&大祭典——「開け2
世紀のとびら」——が開催された。

第1部式典では、ナゴヤドーム
大型ビジョンにて「100年の歩み」
が映し出され、参加者は
1905年(明治38年)にその
前身として産声をあげた中京
裁縫女学校から、現在の中京女
子大学に至るまでの歴史を映像
で辿った。

第2部大祭典「100周年フェス
ティバル」では、中京女子大学運
動部員と中日ドラゴンズOB選
手によるミニゲームや、学生・その
他来場者とともにグランドに描
いた「100」の人文字記念撮影、豪
華商品が当たるクイズや抽選会、
ジャンケンゲーム等が行われた。

また、故内木玉枝氏(中京裁
縫女学校 初代校主兼校長の
体操)や、地元伝統芸能の保存
会による加子母伝統文化芸能(木

今日の一歩は 2世紀へのスタート



遣り音頭・加子母太鼓)が披露
された。

そして終日にわたって行われ
た式典・祭典は、至学館高等学
校生徒会会长の閉会宣言にて
幕を閉じた。

式典終了後、谷岡郁子学長は
「私にとって本日のナゴヤドーム
は、糸余曲折あつた中京女子大
学の100年間を結び、次の100年
とびらを開くためにもう一度皆
で結束する場。故内木玉枝氏の
一步から始まり、谷岡太郎先生
をはじめ多くの方々に支えられ
てきた100年に感謝し、祝い、また
明日から輝かしい歴史を築いて
いきます。

会場にナゴヤドームを選んだ
時、参加者数に対して会場が広
すぎるのではないか?といった心
配もありましたが、杞憂に過ぎ
ませんでした。本学学生や至学
館高等学校の生徒が放つエネルギー
が、全くそれを感じさせま
せんでした。」と笑顔でコメント
を残した。

新理事長に谷岡郁子氏

100周年フェスティバルのプログラム
「学園功労者記念品贈呈式」にて、
谷岡太郎氏の理事長退任(平成17
年11月22日付)および、谷岡郁子氏
の理事長就任(平成17年11月23
日付)が発表された。





優秀賞
「海のイチゴケーキ」
大庭 陽子
大阪女学院高等学校2年



ファッションデザイン学科賞
「2005年宇宙の旅」
山村 真衣子
夙川学院高等学校2年



優秀賞
「思ひ出」
浜田 那都子
大阪商業大学高等学校1年



ビジュアルデザイン学科賞
「空と海の自由鳥」
渡部 麻衣
会津若松ザベリオ学園高等学校2年



環境・建築デザイン学科賞
「町で見つけたアイアイ傘」
直野 紀子
香川県大手前高等学校2年



プロダクトデザイン学科賞
「幻想机」
高森 加奈子
福岡県立遠賀高等学校3年



神戸芸術工科大学賞
「あしもとふわふわひつじさん」
鈴木 祥子
京都市立伏見工業高等学校1年

NEWS FILE



山本寛斎氏の講演風景

山本寛斎氏 講演会

平成17年10月15日、神戸芸術工科大学にてファッションデザイナー、イベントプロデューサー、タレントなど多方面で活躍中の山本寛斎氏による講演「人間讃歌」が、同大学園祭の一環として行われた。

講演では1993年現ロシア「赤の広場」にて、約12万人动员という快挙を遂げた山本氏のイベント（同規模では第二次大戦でナチスドイツに現ロシアを含む連合軍が勝利した際の集会以来）や、その他世界各国で山本氏プロデュースのショーにまつわる話が映像とともに披露された。

会場をうめた参加学生には、山本氏から「年齢に関係なく夢を持ちなさい。夢を持ってば人は元気になる。そして夢実現に向けて行動をおこす時、世界を基準とした価値観を心がけるように。」とメッセージが送られ、最後には「異常な男、山本寛斎のように生きたいと思う芸工大生さんは、遠慮なく私の会社に応募して下さいね。」と締めくくり、会場は大きな拍手に包まれた。



最優秀賞を受賞した「one step」のメンバー

学園設置校 地域商店街活性化に一役

東大阪市後援のもと、近鉄奈良線瓢箪山駅界隈の商店街連合組織「スマイル瓢箪山」と大阪商業大学による商店街活性化を目的とした、産学連携のプロジェクトがすすめられている。

平成17年9月23日には、大商大生による商店街活性化プロジェクトのプレゼンテーション及び審査会が、商店街近くの四条リージョンセンターにて行われた。プレゼンテーションには同大OPBコースを中心とした5チームが出場。各チームからは同商店街で、半年以上にわたる実態調査活動を行ったうえでの、実効性のある企画が披露された。最優秀賞には、チーム「one step」の「幸せ商店計画」～個店改革プロジェクト～が選ばれた。これは“店舗単体の活性化こそが商店街活性化への近道”とする企画であり、商店街内店舗の商品・サービスを、消費者の投票によりランク付けする「総選挙」を導入するというもの。「選挙イベントそのものが、消費者と店舗のつながりを深めてくれることや、ランク付けが今までにない競争原理を促進させることに着目しました。」と発表者。今後はこの案を中心に、他チームの企画の良い部分を取り入れながら実現させる予定。

その他学園設置校では、神戸芸術工科大生および院生らが神戸市内商店街の空き店舗に住み込み、芸術祭を開催したり、商店街のお買い得情報などの「口コミ」を紹介するホームページを開設するなど、大商大生と同じく地域商店街活性化に一役買っている。いずれもこれからが楽しみな活動であり、その効果を期待したい。

ケータイフォトコンテスト 結果

神戸芸術工科大学主催「ケータイフォトコンテスト」が今年度も行われた。3回目となる今年は、889の応募があり、10月16日には神戸芸術工科大学賞をはじめとする各賞が表彰をうけた。



記者の質問に答える金村君

金村大裕君 阪神タイガースに内定

平成17年11月18日に行われたプロ野球ドラフト会議2005にて、大阪商業大学経済学部経済学科4回生、金村大裕君が阪神タイガース3順目の指名を受けた。

ドラフト会議当日、幼少の頃からタイガースのタテジマを着、甲子園球場でプレーすることを夢見ていた金村君と、愛弟子の行く末を案じる山西監督の表情に余裕は無かった。そして14時半過ぎ、阪神・佐野西日本統括スカウトから「金村大裕指名」の一報が入ると、ようやく金村君は安堵の表情を見せた。

馴れない取材に戸惑いを見せるものの、「今の私ではタイガースの即戦力になれないかもしれません、いつか一軍投手になり、指名していただいた岡田監督に恩返します。」と力強くコメント。決して華やかとはいえない学生時代の記録と、その謙虚な姿に“強靭な雑草魂を持つ選手”として多くのメディアが早くも期待を寄せる。

会見後は、グランドで待つ大商大のチームメイトから胴上げの祝福を受け、ようやく本人も喜びを爆発させた。

11月27日には仮契約も済ませ、いよいよ来期シーズンに向け金村君も本格始動。184cmの長身から投げ込まれる剛速球が、甲子園の大観衆を沸かす日は近い。

医療と介護の側面で、 確かな地域貢献を実現

今回「識者の目線」に、「登場いただくのは、大阪市北区の「特定医療法人渡辺医学会」で理事長兼病院長を務める渡辺真一郎先生。渡辺氏は医療の分野で活躍される一方、谷岡学園評議員としても学園発展のため日々「尽力くださっています」。

渡辺氏にはビジネスと観光の2つの顔を持つ街「梅田」で確立された、医療面からの地域貢献について語つていただきました。

我

々が行う医療活動の中で、特に地域社会とのかかわりが深いものあげるならば、「桜橋渡辺病院 メディチックサービス」と「地域医療連絡室」の2つになります。「桜橋渡辺病院 メディエックサービス」は簡単に申し上げますと健康診断などの検診事業を行う施設であり、本病院と同じ大阪市北区(大阪駅前第三ビル)を活動の場としています。私がこの検診事業に力を入れた理由は大きく分けて2つあります。1つは病院が社会に提供するサービスは治療同様、予防も大切であるという風潮になってきたからです。かつて病院に求められたことは治療業務で、検診はあくまで病院内的一部業務でしかなかつたのですが、現在の社会ニーズは、病院は治療と同じく「病を未然に防ぐ」ことに

もつと力を注ぐべきだと言われています。もう1つの理由は「桜橋渡辺病院 メディチックサービス」の立地場所である梅田が、多忙な社会人の方々に利用していただきやすいからです。特に昨今増えつつある派遣会社勤務者や短期契約の方にとって、本検診所は便利な条件を備えています。企業によつては社内の健康診断を受けさせることもありますが、全ての企業が実施できているわけではありません。また不景気のおりを受け、検診内容を縮小しコストダウンを徹底する企業も少なくありません。

外せないのが、院内に平成10年に発足した「地域医療連絡室」です。当室では、当院と他の医療機関や近隣の先生方、また医師会との良好な関係を築き、患者さんに転院のサポートやその他社会的援助などをを行っています。また今年の8月からはメディカルソーシャルワーカー(疾病や心身障害などで起こる、患者と家族の心理的・社会的问题について社会資源を活用しながら、当事者が自主的に解決できるよう援助する職種)が配置されました。これにより、①患者さんやその家族が療養中に直面する心理的・社会的問題の相談に応じ、また問題解決のため援助を行う。②患者さんが、退院時に生じる諸問題に対する順応性が求められます。

以上が一部ではありますが、我々が行う医療の側面からの地域貢献です。もちろん急速な時代の変化とともに、われわれの業界もそれ創立以来引き継がれる「患者様方の心の支えとなる病院づくり」を目標す精神で、今後もかけがえのない命と、尊い人生のために努力し続けます。



渡辺真一郎

略歴

昭和27年	大阪府出身
昭和53年	兵庫医科大学医学部卒
昭和58年	大阪大学医学部第一外科医員(～昭和62年)
昭和62年	大阪警察病院 心臓血管外科医長(～平成4年)
平成17年	特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 理事長兼病院長



他の社会活動

- 谷岡学園評議員
- 大阪府曾根崎警察署警察
- 大阪リハビリテーション専門学校理事
- グループホーム「フレーゲ甲子園」健康相談医
- その他多数



編集後記

日ごと寒さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いつのまにか秋は過ぎ去り、私は昨年まで欠かさなかった紅葉狩りに行けなかったことを、腹の底から悔やんでいます。

関西で紅葉狩りの聖地といえば、やはり「京都」のようですが、老若男女でごった返す秋の京都はどうも苦手です。以前京都のお寺へ行った時も、修学旅行団体と遭遇してしまい、終始彼らの元気な悲鳴とフラッシュが目の前を飛び交っていました。また、「写真撮って下さい」と頼まれれば、そこからしばらくは思い出作りのお手伝い。カメラは1人=1台なので、山積みのカメラでかたっぱしから撮影しますが、同じグループを撮り続けると、自然と後半は“やっつけ仕事”になっていきます。やっと最後の一台となった頃、別のグループに見つかるともうおしまい。「次はこのカメラで、このグループをお願いします」と現地コーディネーターのような学生に仕切られる始末。あげく「チェック 目つむっちゃったよ」と不満げにカメラを受取られると、痛恨の一撃一會を感じにはおれません。手元に警策があれば、喝を入れるところです。

比べて、私が足繁く通う六甲山の紅葉スポットは、さびれたお寺に隣接する公園なので人影まばらに全くの静寂。少なくとも観楓欲は満たされます。特に早朝、山間から降り注ぐ曙光に照らされた紅葉は絶景、目を閉じれば瞼の裏が紅く染まります。また、風がそよとも吹かない朝霧の中、一枚また一枚と散る楓の葉は、日頃忘れかけた諸行無常を思い出させてくれます。

皆様も一度、地図にはない紅葉スポット探訪されてはいかがでしょうか…ではまた来年に。

本学園における個人情報の取り扱いについて

学校法人谷岡学園（以下「本学園」という。）では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名：
学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎
個人情報の取扱いについての問合せ窓口
学校法人谷岡学園 法人本部 総務課
個人情報取扱係
電話：06-6781-0385



大阪商業大学
学生カウンセラー

梅林 厚子（臨床心理士）

「学校を卒業したら、職に就いてお金を稼ぎ、経済的にも精神的にも親から独立する。」こういったこれまで当たり前に考えられていた若者の自立の構図が、今、足元から崩れている。

フリーターやニートの数が年々増加し、現在では社会問題として取り扱われている。なかでも、将来の不安を抱え、身動きできない状態にあるニートと呼ばれる若者の苦悩は年々浮き彫りになっており、こういった人たちへの早期支援が叫ばれている。

1.ニートとは

「ニート」とは、若年無業者問題に悩む英国で使われる「Not in Education, Employment or Training」の略称で、通学も仕事も職業訓練もしていない若者たちを指す用語である。厚労省が発表した「05年版労働経済白書」によると、04年のニートに相当する若年無業者は64万人で、3年連続過去最多記録となっている。このような数字の背景には、本人の意識だけではなく、社会、経済、職場、学校、家庭など複雑な要因が関わっていると指摘されている。そして、これは先進工業国に共通した現象もあるらしい。03年の15～24歳の失業率は、イタリアでは約27%で最も高く、次いでフランスの約22%、スウェーデンや英国の約12.13%がそれに次いでいる。日本は約10%といった値である。

2.若者たちの背景

若者たちが仕事や将来を決めかねるのはなぜだろう。「自分に適した職業がわからない」「仕事を続ける自信がない」「職場での人間関係が煩わしい」「希望する仕事はもっているが、求人が少ない」「夢を見続けたい」等々、

多様な思いが絡み合っているのは確かだろう。雇用の状態についても親世代とは大きく変化しているのも現状だ。

現代の若者たちは、モノが溢れ、サービスの行き届いた豊かな時代を親の庇護の元、受身的に過ごす場面が多くあった。しかし、そんな彼らも自分の将来については余儀なく自己決定を迫られる。洪水のような情報の中で、「選択する」ことを課せられるのだ。ピッタリ合った道を追い求め、先延ばししているうちに、選択の幅が狭まることがあるだろう。また、学校になじめなかったり、就職活動に失敗し続けることで自信を失い、引きこもったりするケースも多く見られる。

3.ニートへの支援

欧州諸国では、「失業者向けに職業訓練を行う」「学校と企業で職業訓練を両立する」「待遇差をなくし正社員以外の働き方を多様にする」「教育段階で職業意識を啓発する」など、若者への就労支援がかねてより熱心に取り組まれている。わが国でも、これまでNPOなど民間団体に頼りっきりであったが、ようやく国をあげて取り組む姿勢を見せ始めている。

学校と支援機関などが協力し、情報を共有し合って、自立を促す手立てを考えていくことはとても大切なことである。そして、何よりも、「親が甘やかすから」「本人に意欲がない」といって責め立てるのではなく、個々人の長所や、「過大な夢」ではなく「今、できること」をいっしょに探し、寄り添うことが肝要なのではないだろうか。「自分にはこんなことができる」といった成功体験を積み、自信を高めることが一歩を踏み出すための原動力になると考える。